

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が底堅い動きとなり、雇用・所得環境においては改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の強化、ソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は1,701百万円、営業利益は44百万円、経常利益は45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを従来の単一セグメントから、「包装機械」と「生産機械」の2つのセグメントに変更しております。

①包装機械事業

主力の給袋自動包装機を中心に売上高は1,244百万円、営業利益は53百万円となりました。

②生産機械事業

大型のプラント案件を中心に売上高は457百万円、営業利益は77百万円となりました。

当社グループの各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較の変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,983百万円となりました。主な内訳は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が1,645百万円、現金及び預金が1,370百万円、棚卸資産が1,291百万円、のれんが1,238百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,750百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,664百万円、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）が942百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,233百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成29年7月期第1四半期より、従来の単体決算から連結決算に移行しております。平成29年7月期第2四半期累計期間及び通期業績予想につきまして、算定が終了いたしましたので本日付で新たに連結業績予想を発表いたしました。詳細につきましては、本日付で発表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年9月1日付でオサ機械株式会社の全株式を取得し、子会社化しておりますので、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、これまで非連結子会社としていた蘇州日技通用包装機械有限公司は、重要性が増したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。